

ひまわり

NO. 5

昨年最後は、林雅子先生と楠本先生が授業を提供してくださいました。ありがとうございました。研修便りでは、研修協議会で出た意見等を記載しますので、今後の参考にさせていただけたら幸いです。

林雅子先生の算数（三角形と四角形）

①日時 平成30年11月30日（金）第2校時 （2年2組）

②授業の様子



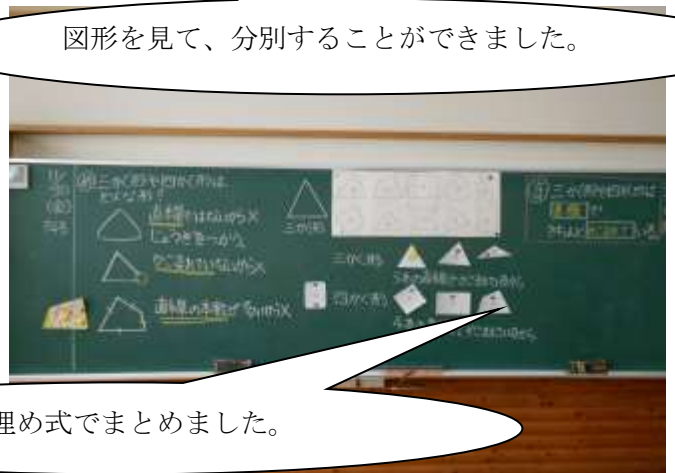
図形を描くときは、定規が必要だとわかりました。



図形を見て、分別することができました。



穴埋め式でまとめました。



③成果と課題（研究協議会において）

- ・なかま分けをするときに、記号だけで分けるのではなく、図形と合わせて分けることで視覚化になっていた。
- ・まとめを穴抜きにすることで、本時のキーワードを確認でき定着にもつながった。
 - キーワードとなる言葉が板書にヒントとしてあり、意識することができていた。
 - 穴抜きに入る言葉がいくつか当てはまるものがあり困惑もあった。
- ・ワークシートに三角形や四角形を描かせるとき、点構成で描くことが必要か？点と点をつなげて直線で描くことを意識させたい。
 - 絵になっているのはどうか？

・三角形、四角形ではない形についても、なぜ違うのかという理由を考えさせたい。

→選んでいた児童がいたので、確認をさせたい。

④助言（学力向上推進委員 福山先生より）

・見つけ方を焦点化しておくことは大切

→三角形の定義をつかって弁別し、分け方がバラバラになりにくい。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

・二年生の段階で、定規の正しい使い方に十分慣れることが大切だと改めて思いました。ありがとうございました。

楠本先生の算数（もとの数はいくつ）

① 日時 平成30年12月3日（月）第5校時（4年2組）

②授業の様子



ペア学習で、考えを伝え合うことができました。



関係図を用いて考えることができました。



（視点）① 全員が関係図に表すことで、問題解決への意欲や見通しをもつことができたか。

② ペアでの活動で、友達の考えを聞いて理解し、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができたか。

③ その他

③成果（研究協議会において）

- ①・関係図のヒントカードが効果的であった。
 - ・関係図のカードが苦手な子供にも動かして考えやすかった。
 - ・関係図のワークシートが、学習の見通しをもててよかった。
- ②・ペアでの活動が有効で、個人→ペア→全体 とつながっていた。
 - ・ほとんどの子供に発言チャンスがあった。
 - ・ペアで一度、話すことで安心感をもち、全体への発表につながっていた。

④課題（研究協議会において）

- ①・関係図と「まず」「次に」「だから」の関係性が難しかった。
 - ・問題文を読み取ることと関係図がかけ離れていたため、問題文に線を引くなどして文意をつかみ、イメージさせることが大切である。
 - ・図に表して独り言でもいいから声を出す→ペアで説明する→なぜ「もどす」のか問題文の言葉を使って説明するといいい。
- ②・文を読み取る、説明する力をつけさせたい。
 - ・考えていることの言語化が大切。話型を意識して話すことが大切である。
- ③・上靴をはく、立つ、座るなどの学習規律の徹底が大切である。

⑤指導助言（向井小 井上校長先生より）

- ・どうやったら子供に関係図をかかせることができるか、子供と一緒に算数を考えるのが楽しいと思って自分はやってきた。
- ・子供たちは、正しい答えを出すことがねらいになっていた。
 - 関係図にする、式で解くとどうなるかを表現していかなければならない
- ・学力観を変えていかなければならない。
 - それには、保護者の学力観を変えていかなければならない。
- ・算数の「深い学び」を求めて
- ・本時のまとめ→子供の言葉のまま書くことが大切。
 - 修正したかったら、どんどん子供たちに言わせて出させる
- ・自己評価について
 - ほとんどが◎で○が2人、2人にはどこがわからなかったか確認するとよい。
- ・授業を振り返り、たとえば「上靴をきちんとはこう」など目標を教室掲示する。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

- ・関係図やペア学習の意味を改めて確認できました。ありがとうございました。